

要求実現の力をもつ
労働組合をめざし
全国で組織建設と
拡大をすすめよう！



発行所
JMITU
(日本金属製造情報通信労働組合)
〒114-0023 東京都北区滝野川
3-3-1 ユニオンコーポ 3階
電話 (03) 5961-5601~2
FAX (03) 5961-5603
※組織外、無断転載禁止



「STOP消費税10%」！ 市民600人が緊急デモ (9月24日 東京・新宿)

安心して働ける職場に

78支部分会が秋闘要求 回答10月2日(水)

JMITUは9月18日、全国いっせいに19秋闘要求を提出しました。各支部分会で、「合意協力型」労使関係、安全衛生に加え、「安心して働ける職場をめざす」3本の統一要求が提出されました。

安心して働ける職場をめざす統一要求では、時間外労働の規制をはじめとする労働時間短縮、継続雇用者の賃金・処遇改善と「退職金2000万円以上」、ハラスメントをなくす要求などが柱となっています。

人手不足のなか多くの職場で残業・休日出勤がまんえんしています。低賃金のなか少くない継続雇用者が、貯金を崩しながらの生活を強いられています。JMITUの職場でも、パワハラが問題になっています。10月2日(水)の回答指定日に向け、各地で回答確約を求める交渉がおこなわれました。

10% NO !

「メシ食いたい!!」「増税やめろ」「賃金上がらないのに増税はないだろう!」—10月1日からの消費税10%に反対する「緊急デモ」が9月23日、東京・新宿中央公園から新宿駅一帯でおこなわれました。

沿道からはいっしょに声を上げる人やスマホでデモを撮影する人、飛び入りでデモに加わる人も。スタート時400人ほどだったデモは終結時には600人に膨れ上がりました。

安倍政権は国会も開かず10月からの増税強行ですが、「社会保障のためとウソつくな」「消費税を軍事費に使うな」「増税ではなく減税、廃止に」の声がひろがる気配。10% NO! の声を上げ続ける必要があります。

「リーダーって?」「なぜJMITU?」

JMITU第2回リーダー養成講座ひらく



「職場と産別の働き手を育てよう」と、昨年につきJMITUの第2回リーダー養成講座が9月21～22日、湯河原にておこなわれ、支部の委員長や書記長など20歳代から60歳代まで中央役員含め33人が参加しました。講座では泉田会計(埼玉地本書記長)と笠瀬書記長が「私のリーダー論」について、三木委員長が「いまなぜ産業別統一闘争なのか」について講義。全体討論で深め交流しました。(写真)

自分から歩み寄る

一番学んだことは「自分から歩み寄っていく」ということ。「職場の人に話を聞きに行く」「問題だとする場所に行ってみる」。いままでできていませんでした。「生の声」を大事にしていきたい。(東京・宇野沢鉄工所支部 磯部達也)

役職が人を育てる

「労働組合も2:6:2。積極的でない人がいても『そういうもの』と割り切ることも大事。『役職が人を育てる』、自分もそうだったように思います。『相手の話を良く聞く。9対1』が大事だと学びました。(長野・カネテック支部 中村友幸)

JMITUの必要性学ぶ

自分自身、JMITUに属している必要がある

のか、どういう利点があるのかと疑問を持っていました。講義を受けて、産別としての団結、情報共有の必要性を学びました。ストライキは会社に対し要求の切実さを伝えていくことというのも学びました。JMITUは必要だと感じました。(京滋・カシフジ支部 東誠)

なぜ産業別労働組合なのかがわかった

ストライキを打っても思ったより賃金が上がらず、意味があるのかという声を聞く。しかし、全国平均と比較してみると、ストライキをしているからこそと思える。大企業労組の回答前に指定日を設定し、支部だけでなく産別の役員が入って交渉。なぜ産業別労働組合の形をとっているのかがわかった。(東京・小坂研究所支部書記長 小泉真吾)

「JMITU」(メールニュース版)は、毎月発行を基本としつつ、闘争時の職場のたたかいなどを適時発信していきます。各支部・分会などひろく展開してください。